

令和5年度第1回洞爺湖町教育行政審議会（会議録）

日 時：令和5年11月17日 金曜日 午後6時30分～午後7時22分

場 所：洞爺湖町役場3階 防災研修ホール

出席委員：◎会長 ○副会長

区 分	氏 名	出欠	区 分	氏 名	出欠
1号委員 (学校教育)	西村 雄一	○	4号委員 (教育有識者)	◎鈴木 淳	○
	横山 慎二	○		○上林 宏文	×
	千葉 佳貴	○	5号委員 (公共的団体)	福島 正和	○
2号委員 (社会教育)	木村 省平	○		秋山 伸吾	○
	泰地 ひとみ	○		田伏 ひとみ	○
	京谷 常美	○		三浦 和則	○
	宍戸 一江	×		宮本 好	○
	佐々木 小代子	○		佐藤 義昭	○
	川上 由起子	○	6号委員 (公募)	浅利 弘樹	○
3号委員 (保護者)	白井 隆子	○		國井 一宏	○
	長谷川 尊裕	○		高久 裕子	○
	高橋 洋一	×			
	折原 亜紀	○			
	傳 尚邦	×			

教育委員会：渋川賢一教育長

（事務局）：教育推進課 高橋課長、大楽係長

社会教育課 角田課長、高木課長補佐、汐後係長、黒澤係長

○高橋課長

定刻となりましたのでただいまから令和5年度第1回洞爺湖町教育行政審議会を開催いたします。まず、会議次第1でございます。辞令交付を行います。

よろしくお願いします。

（各委員へ辞令交付）

○高橋課長

続きまして、渋川教育長の方からご挨拶があります。

○渋川教育長

改めまして皆さんこんばんは。お疲れのところ、また悪天候の中、本審議会にご出席いただき心より感謝申し上げます。

また日頃より教育委員会が進めております様々な政策に対しましてご理解ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。加えてただいま、辞令書を交付させていただきましたが、このたびの委員の任命に際しまして快くお引き受けくださいましたことに、重ねて感謝を申し上げるところでございます。

さて、この後諮問をさせて頂くことになっておりますけれども、少子化や公共施設の老朽化など全国的に課題になっている点については洞爺湖町においても例外ではなく、平成18年の町村合併当時、約760名ほどいた児童生徒も、17年が経過した現在、405名と大きく減少しております。

また、小中学校の校舎やプールをはじめ、社会教育施設も含めて多くの施設が昭和40年代後半に建築されており、老朽化が進み更新時期を迎えているところでございます。

このような現状を踏まえたとき、広くこれからの洞爺湖町教育のあり方や方向性などについて、学校教育、社会教育の専門家の皆様や保護者の皆様、さらには地域の関係団体や自治会等の皆様にご審議をいただき、その内容等を踏まえ、町民の皆様と一緒に洞爺湖町にふさわしい教育を形作っていくことが大切であるというふうに考えております。

このようなことから、皆様には今後、会議を重ね、審議を深めて頂くこととなりますが、当町における教育推進の将来を見据えた重要な会議というふうに考えておりますので、大変ご苦勞をおかけすることとなりますけれども、趣旨をご理解いただき、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上、審議会の開会に当たって一言ご挨拶をさせていただきました。

どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○高橋課長

続きまして、委員紹介です。私の方から順次ご紹介させていただきますので、その場でご起立をお願いしたいと思います。なお、宍戸委員、高橋委員、傳委員、上林委員については欠席の報告を受けております。

(各委員紹介)

#### ○高橋課長

続きまして会議次第5、事務局の紹介を行いたいと思います。

(事務局員紹介)

#### ○高橋課長

続きまして正副会長の選出でございます。正副会長の選出に当たっては、洞爺湖町教育行政審議会条例第6条に、委員の互選により定めるというふうに定めてございます。

どのような方法で互選するのがよろしいでしょうかお諮りいたします。

(事務局一任の声)

今、事務局一任というようなお声がございましたけれども、よろしいでしょうか？

(はい、の声あり)

ありがとうございます。それでは事務局案を発表させていただきます。会長には北海道教育大学函館校の鈴木淳教授に、副会長には本日ちょっと欠席をいただいておりますけれども、北翔大学教育文化学部教育学科の上林宏史教授にお願いしたいと思いますよろしくお願いしますでしょうか。

(はい、の声あり)

ありがとうございます。

それでは、ここから議事進行は鈴木会長の方に引き継ぎたいと思います。会長どうぞ前の方にお願いいたします。会長一言ご挨拶をお願いしてよろしいですか。

#### ○鈴木会長

今ご紹介いただきましたけれども、北海道教育大学で勤務しております鈴木と申します。

先ほど、渋川教育長が洞爺湖町にふさわしい教育っていうお話がありましたけれども、ぜひ皆さん方が、それぞれの専門的なところ、またはいろんな視点からですね、洞爺湖の子供たちのためにいろいろと議論できるように私も進行の方、努めてまいりますので、皆さまの協力も合わせてよろしくをお願いしたいと思います。

はいそれでは議題の方に入りたいと思います。会議次第の 6 ということで、教育行政審議会の趣旨説明について括弧 1 から括弧 3、これをあわせて事務局の方から説明の方よろしくをお願いいたします。

#### ○高橋課長

教育行政審議会の趣旨説明について、ご説明申し上げます。(1)では、なぜ、この審議会を立ち上げる必要があったのか、なにを審議するのか、また、(2)では、洞爺湖町は教育に対する展望をどのように持っているのか、どのような施策を考えているのかについて、(3)は、洞爺湖町は教育と行政の現状について簡単に説明させていただきます。

(1)洞爺湖町教育行政審議会について、ご説明します。本日配布している資料で「洞爺湖町教育行政審議会条例」をご覧頂きたいと思います。この条例は、本日の審議会の設置根拠となるもので、簡単にご説明申し上げます。

条例制定の趣旨ですが、教育委員会所管の事務事業の遂行に当たり、さまざまなニーズに迅速に対応するため、教育委員会の諮問により、教育諸課題に対し、各有識者の方々と調査、審議し答申頂くことで、教育行政に広く地域の意見を反映したものにするため、洞爺湖町教育行政審議会を設置するものであります。

条例内容について、ご説明いたします。第 1 条、目的です。教育の振興と発展のため教育課題やニーズに迅速に対応するため、地方自治法に基づく洞爺湖町教育行政審議会を設置するものでございます。

第 2 条、所掌事項です。審議会は教育委員会からの諮問に応じ、必要な調査及び審議を行い、答申をすることを定めており、所掌事項を、第 1 号で、町の教育目標と教育ビ

ジョンの策定、見直しに関する事項、第2号で、教育ビジョンの実施に当たり必要な事項、第3号として、教育委員会が必要と認めた事項としております。

第3条は、教育委員会の責務として、教育委員会は審議会に諮問するに当たり、広く町民のニーズを聞くこと、また、審議会の答申を尊重することを定めてございます。

第4条は、組織でございます。審議会の委員は25人以内で構成し、構成団体等としましては、第1号で学校教育関係者、第2号は社会教育関係者、第3号は保護者、第4号は教育関係の有識者、第5号は公共的団体等、第6号は公募と定めております。

第5条は、委員の任期等で、第1項では委員の任期を3年、第2項では再任の規定、第3項は委員の在任特例を、第4項は委員の罷免、第5項は委員の守秘義務を定めております。

第6条は、正副会長に関する規定で、第1項から第3項まで正副会長の選出方法や役割について定めてございます。

第7条は、会議です。第1項の会議の招集から第4項の裁決に関する規定まで、会議運営に関する事項を定めてございます。

第8条は専門部会です。第1項は、審議会に専門の事項を審議させるため、専門部会を置くことが出来ることを定めており、第2項及び第3項は、委員の選任と運営に関する規定です。

第9条は庶務で、教育委員会では処理することを定めております。

第10条は委任です。

附則ですが、第1項は施行期日ですが、この条例は令和5年7月1日から施行することを定めております。第2項は経過措置でございます。

つづきまして、本日お配りしている(2)の第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンについて、ご説明します。このビジョンは、令和8年度までに洞爺湖町が進むべき政策と施策を体系化し、実際に取り組み内容を整理しております。別紙で、A3版の概要版をみて頂きたいのですが、基本目標が1から7まで掲げられており、各目標ごとに基本方向、視点と枝分かれし分類が整理されております。さらに、視点ごとに具体的にどのような取り組みを行っていくのかを記載しております。

先ほどの条例の説明の中でも、このビジョンに触れましたが、この審議会はこのビジョンの策定と見直し、そして、この中に記載されている取り組み事項の中から、教育委員会が諮問し、審議頂くためのものと、ご理解いただければ結構かと思えます。

続きまして、本日お配りしている(3)の洞爺湖町の現状についてご説明します。まず最初に洞爺湖町の概要ですが、令和5年度における町の人口携帯や推移、産業の構造、町のインフラや財政状況といったものをまとめた資料となっております。特に説明はしませんが、今後の審議の参考になればと思い提出しました。

次に、洞爺湖町教育といった冊子がありますが、こちらは、令和5年度の教育行政の執行方針や小中学校の概要や児童生徒数、そして社会教育事業や施設をまとめたものでございます。こちら、特に説明はしませんが、今後の審議の資料として提出しまし

た。

以上で教育行政審議会の趣旨説明の方は終わらせていただきたいと思います

#### ○鈴木会長

はい、どうもありがとうございます。今事務局の方から三つご説明がありました。まず一つが、条例についての内容です。特にこの第 1 条の目的ですね、この目的のところがまず私もちょっと見てですね洞爺湖町の教育の振興と発展を図るっていうところが一つはやっぱり目的なのかなっていうところ。

二つ目に、教育に対する課題やニーズに迅速に対応するっていうところ、この辺りの 2 点が目的としてっていうのがあるので、ぜひこれからの審議の中で、この部分は軸としながらですね、洞爺湖町、または洞爺湖町の子供たちにとって、いろいろ議論できればいいのかなっていうことで、あと、なかなか難しいところありますけども、そういうことでまず目的をしっかりとここで確認したいと思いますけども、この条例について何か確認したいとかってありますか。

(なしの声)

二つ目がこの教育ビジョンということで説明がありました。これは令和 8 年度までの長いスパンでの洞爺湖町のエデュケーションであるので、これからどういうふうにして方向性を確認していくのかっていうあたりで、多分これがですね一つ一つ確認しながらっていうことも出てくると思いますので、ぜひその中でそのたんびに不明なところがあれば、この会でいろいろとやり取りして教育委員会事務局の方からも説明いただければありがたいかなというふうに思いますので、それぞれの立場でいろいろエデュケーションについてですね、いろいろ確認しながらやり取りできればと思います。

このエデュケーションについて何か今確認するところってありますか。

(なしの声)

よろしいですか。かなり文字が多いのでそこら辺は読み込みながらですね、確認していただければというふうに思います。

そして最後が洞爺湖町の町の内容と教育委員会が令和 5 年度の洞爺湖町のエデュケーションということで、それぞれこういう方向で進んでるというようなことがこの中に整理されているかと思います。これも多分基礎資料っていうか、何か議論の中でいろいろと参考になったり、私も洞爺湖町のことは十分にちゃんと認識ないもんですから、いろいろと皆さん方からいろんな角度からいろいろとお話いただければですね、いろいろとまた議論も深まっていくのかなと感じております。

それではなければ会議次第の 7 ですが、諮問ということでよろしく願いいたします。

#### ○渋川教育長

それで読み上げて諮問させていただきます。次に掲げる事項について、別添理由を添えて

諮問します。

洞爺湖町立学校における特色ある学校づくりと、教育環境の向上に関する総合的な方策について。令和 5 年 11 月 17 日、洞爺湖町教育委員会。理由、洞爺湖町における児童生徒数は、平成 18 年の町村合併の翌年度は児童数 479 名、生徒数 481 名でしたが、令和 5 年度は児童数 254 名、約 47%減、生徒数 151 名、約 68.6%減とわずか 16 年間で大きく減少しています。

この間、洞爺湖町内小中学校の適正配置計画、平成 26 年 12 月を踏まえ、生徒にとってのよりよい教育環境と学びの充実に資するとして、平成 28 年 4 月に洞爺湖温泉中学校と虻田中学校を統合しましたが、その後も児童生徒数の減少は続いており、洞爺湖町における学校教育のあり方に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

当町ではこのような状況に鑑み、学校教育法第 21 条の規定に基づく義務教育の目標に迫るべく、小中 9 年間の系統性、連続性に配慮した小中一貫教育制度の早期の導入を目指しております。

次に、小中学校の校舎や社会教育を含めた教育関連施設については、その多くが昭和 40 年代後半に建築され、老朽化が進んでおり更新時期を迎えています。

一方で、当町における教育関連施設については、有珠山噴火や津波といった自然災害時における避難施設としての活用、加えて更なる人口減少や少子高齢化を見据えた公共施設のコンパクト化やスリム化への転換、厳しい町の財政状況等も視野に入れてくる必要があります。

これらの理由により、洞爺湖町立学校における特色ある学校づくりと教育環境の向上に関する総合的な方策について諮問を行うものであります。

なお、ご審議に当たっては、第 2 期洞爺湖町まちづくり総合計画、平成 29 年 3 月及び第 2 次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン令和 5 年 3 月一部改訂、洞爺湖町教育大綱、令和 5 年 3 月との整合性にご配慮いただきますようお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○高橋課長

委員の皆様には申し遅れましたけども、写しを配布しておりますので、後ほどご確認いただきたいと思います。

ここで、教育長は退席いたします。

(教育長退席)

#### ○鈴木会長

この諮問を踏まえて、これからこの会でいろいろと審議していきたいと思いますので、まずはそれぞれお読みいただきながらですね、何か不明点、またはいろいろな考えですね。お持ちいただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、会議次第 8、議案第 1 号の洞爺湖町教育行政審議会会議運営規程を議題としま

す。事務局より提案理由の説明を求めます。

○高橋課長

議案第1号、洞爺湖町教育行政審議会会議運営規程について、提案理由を説明します。

この規程は、教育行政審議会の会議を運営して行く上でのルールや約束など、議事を円滑に進めるために必要な事項を定めることを目的としております。それでは、条ごとに概要を説明します。

第1条、趣旨ですが、今説明したとおりでございます。第2条、基本方針ですが、会議は公開とすること、ただし、個人情報に関することや、公開することで審議に支障が生じることがあれば、非公開とすることを定めております。第3条、議長等の責務ですが、議長には効率的な会議運営と、委員には議事運営に協力することを定めております。第4条から第6条までは会議の開会、会議録の調製と公開について定めております。第7条から第12条までは、傍聴人に関することを定めております。第7条は、傍聴人は氏名等を受付簿に記入することや、人数を制限することができること。第8条は、傍聴できない者、第9条では禁止行為、第10条は、写真・ビデオ撮影の禁止を定めております。第11条は、会議が非公開となった際は退場すること、第12条は退場命令に関することを定めております。第13条は、専門部会を設置した際には、この規程に準じて運営することを定めております。第14条は委任です。附則ですが、本日から施行するものであります。以上、よろしくご審議願います。

○鈴木会長

はい、ありがとうございます。今事務局の方からこの会議の運営規程ということで第1条から第14条まで附則も含めてということで説明がありましたけども、まずちょっとご覧いただきながら、ちょっと時間をとりたいと思います。

○京谷委員。

こういった法的な会議の会議録を作成するのは、参加してる委員からの署名は設けなくてもいいのでしょうか。

○高橋課長

はい、お答えいたします。うちの町にですね、附属機関の会議に関する規則というルールがございます。その中に会議録を作成し公開することなどを定めた内容のルールが載ってございまして、その中には議事録署名というところまでのことは記載がされておられませんので、議会だとかは議事録署名ということはやるんですけども、うちのこの附属機関の中のルールでは会議録の作成については、署名というところまでは求められてないということに基づきまして、今回お諮りしたという形でご理解いただければと思います。

○鈴木会長

よろしいですか。あと、どうでしょうか？はい、どうぞ三浦委員。

○三浦委員

第9条の飲食ですが、傍聴者を含め会議中は出来ないとなると、傍聴の参加や我々も、例えばお茶をのむとかもダメなのでしょうか。

○高橋課長

ちょっとした飲食という形になると、例えばペットボトルでお茶飲むとかですね、そういった部分は許容範囲なのかなと思うんですけどもここで想定しているのは、例えばおやつを食べるとかですね、なんかパンを出して食べるとか、常識の範囲を出たものについてはやめていただきたいというような形で考えてございます。

○鈴木会長

喉乾いたりする部分もあるということを想定して持参する方は持参していただいて良いということです。あといかがでしょうか。それじゃあ、質問等がありませんのでこの運営規程について決定するという事で異議はありませんでしょうか。

(はい、の声あり)

○鈴木会長

それでは議案第1号、この洞爺湖町教育行政審議会会議運営規程について提案の通り決定をいたしました。それでは続きまして議案の第2号の方に移りたいと思います。議案第2号は、洞爺湖町教育行政審議会会議開催計画についてであります。

この部分について事務局より提案理由をお願いいたします。

○高橋課長

議案書6ページから7ページにかけてでございます。議案第2号、洞爺湖町教育行政審議会会議開催計画でございます。この内容につきましては、この審議会、本日1回目を開催させていただきました。この後どのような内容で協議を進めていくのかと、何回ぐらいを見込んでいるのかといったものを、ある程度見通しを立ててやっていきたいなと思ってございますので今回示させていただきました。

当然、審議協議の上で、この通りいかないということもあり得ると思っておりますけれども、目安としてですね今回お諮りしたいというふうに思っておりますのでご理解いただければと思います。まず第2回目の会議でございます。来年の2月を開催予定としてございます。この日にやりたいと思ってることは、実際に教育関連施設、学校だとか社会教育施設、かなり老朽化しておりますので、実際見ていただきたいなというふ



うに思っています。

その後に公共施設の総合管理計画など、町で作っている計画の話だとか、その視察していただいた教育関連施設の実際の利用状況はどうなんだろうとか、年間の維持コストはどのくらいかかっているのか、近隣市町村には類似しているものはあるのかないのか、あと洞爺湖町における小中学校における子供と学校のあり方についての提言といったものも以前、町民の皆様からいただいたことがございます。そういったような現状について改めて認識するための資料作りもさせていただいて説明したいと思っております。

さらに、洞爺湖町の将来人口、人口ビジョンという形で町も持っております。40年後この町の人口がどうなるかといったような見通しについて、あとは町の財政状況、そういったようなことをまずご理解いただいた上で、3回目以降、諮問した内容でですね、特色ある学校作りと教育環境の向上に関する総合的な施策について、どんなことができるかといったことを皆様がたからご意見いただきたいなというふうに思っております。3回、4回、5回ぐらいでまとめていただきまして、6回目、来年の11月ぐらいに答申というようなイメージかなというふうに、これは事務局の案でございますので、当然審議の中で早まるかもしれませんが、来年再来年まではかかるかもしれませんが、その辺は進行を見ながら適宜調整したいと思っておりますが、このような目安で考えているというようなことをご理解いただければと思います。

これによりまして第2回目まではですね、町の現状だとか事情というのをご理解いただく会議なのかなと必然的にこの公共施設、学校を見て歩くということもありますので、2回目はですね、昼間の開催ということを予定しております。働いている方々について多少ちょっとご迷惑をおかけするかもしれないけれどもなるべく日程調整していきたいと思っておりますが、その旨ご理解いただきたいと思います。以上で議案第2号洞爺湖教育行政会議開催計画についてご提案いたします。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。以上です。

#### ○鈴木会長

はい、ありがとうございます。今、開催計画について第1回の審議会、今日から第6回の審議会、令和6年11月までということで、事務局の方から説明がありましたけども、これに関わって何かご質問とかご意見等ありますでしょうか？合わせて具体的な内容もですねそこに書かれていますので、それもあわせて見ていただきながら要望等も含めてですね、何かあればお出しいただければと思いますけども、よろしいですか。

次回は来年の2月ということで日中ということになるので、その辺りを逆に言うと、25人全員が集まることはなかなか難しいですね。そのあたりの何かですね、対応っていうんでしょうか、参加されない方に対しての何か情報提供とか、そういうのもあると皆さん同じような形で施設視察は行かなくても、そういう資料があるということではいいかなと思いますので、そのあたりはぜひお願いしたいというふうに私の方から要望したいと思います。

あとよろしいでしょうか。

(はい、の声あり)

○鈴木会長

それではこの議題について異議がないということでこの通り決定したいと思います。

それでは提案どおり決定ということでよろしく願いいたします。

以上で本日の議事については終了しましたけども、9番にその他ということがありますので、第1回目でありますけども、何かこの場でですね委員の方から、確認やちょっとしたお話とかですね、あればお出しいただければと思いますけどもいかがでしょうか。

○國井委員

先ほど教育ビジョンのところで、12ページの真ん中あたり、誤字ではあったんですけども整理の貧困となっております。

○高橋課長

大変申し訳ございません。生理の貧困の間違いです。訂正します。

○三浦委員

先週の日曜日、今度の日曜日ですが、それこそ文化センターで小中一貫教育の講演がありまして、それを新聞で見たのですけれども、審議会の開催というのは何か関係があるのでしょうか。なかったとしても、結構参考になって面白い話でした。

出席させていただいたんですけど、各こういう委員会の委員をやらせていただいているので、そういう講演があるということをできれば事前に、たまたま運よく新聞で知ったのですが、下手するとそのチャンスを飛ばしてしまう場合もあるかなと思いますので、情報提供だけであればしていただければ、すいません。

○高橋課長

ありがとうございます。先週12日と今度26日の方に文化センターで10時からですね小中一貫教育のことを、どういうふうにしていった方がいいのかというようなことを考える場としてフォーラムを設けてございます。いろんな媒体で周知してしたつもりですけどもなかなかちょっと人数が集まらなかったという形で今、三浦委員の方からですね、貴重なご意見いただきまして、本当に、口頭で恐縮ですけども、11月26日10時からですね、文化センターで今度は七飯町の大沼岳陽学園という義務教育学校の校長先生が来ていただいて、小中一貫教育ってこういうことをやるんですよといったようなお話をしていただく予定でございます。小中一貫教育というの、このビジョンの中にですね、進めていくというような形で位置づけされているようなものでございます。

また、今回の審議会の諮問の中にも小中一貫教育という部分は関連して出てきますの

で、もしお時間がありましたら、参加していただければと思います。よろしくお願いいたしますします。

○鈴木会長

三浦委員ありがとうございます。情報共有っていう意味でいろいろとですね、いろんな角度から各委員に情報提供いただきながらですね、考えていくっていうのも一つ大事かと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。あと、どうでしょうか。木村委員どうぞ。

○木村委員

私ちょっと条例の関係で、審議会の庶務が教育委員会となっておりますが、課の名前までですね、教育推進課とか、担当している課名を明示しないものですか。

○高橋課長

今回の教育行政審議会に当たりましては、諮問する内容が教育推進課の場合もありますし、社会教育になる場合もございますので、教育委員会という形で今回の条例を提案させていただいております。

○鈴木会長

よろしいでしょうか。はい。次、浅利委員どうぞ。

○浅利委員

今回の審議会の中では老朽化している町内の施設の状況を見るのか、それとも今後の小中一貫も義務教育学校を近隣であればモデルだとか、こういうような方向であるとか、そういうのが示されるのですか。今後目指す姿が、なんかわからないんですよね。

○高橋課長

次回示すのは現状という形でございます。例えば町内に体育館的なものが何個あるのか、あとは近隣市町村に体育館なんかあるのかプールは何かあるのかといったような現状を示させていただきたいと思っております。その後でそれをどういうふうにやっていくのかとかですね、こういうような資料を出してほしいという委員さんからの要望があれば順次可能な限り対応していきたいと思っておりますけれども、今この2回目を出していくのは、今ある現状だけの資料というようなことで考えております。

○浅利委員

前回の私もこの教育ビジョンの委員をさせていただいたんですけども、今後皆さん、私もどういうふうにしていったらいいかっていう知識が圧倒的に少ないですから、成功

例ということではないと思いますが、そういう先行例の知識っていうか自分で調べればいいんでしょうけども、知ってらっしゃる情報があれば、提供頂ければと思っております。

○高橋課長

今ちょっとご意見いただきましたので、小中一貫の先進事例とかですね、あとはそもそも小中一貫教育って何なんだよとかそういうような基礎的な資料も次回にはお示しさせていただきますと思います。

○鈴木会長

非常に大事な点であると思います。第2回目は、いわゆる現状を見るという形ですけども、その見方もやっぱある程度情報があると、いろんな見方があるのかなって感じますのでそのあたりはうまくタイミング見て事務局の方から、各委員の方に情報提供ということでもよろしくお願ひしたいと思いました。

あとどうでしょうか。ありますでしょうか。はいそれでは事務局から何かありますか。

○高橋課長

事務局からですね何点か、次回会議は調整させていただきたいと思っております。あとですねそれによって一つお願ひがあったんですけども、本日このメールアドレスの登録といったような部分で、今回日程調整するのに文書で送ってですね、やった形になってございます。非常に事務もちょっと煩雑化するので、可能であればですねメールを登録していただければ、ここでメールで一斉送信かけてですね、やることができますので、帰ってからでも結構でございますので、メールアドレスの登録の方よろしくお願ひしたいと思います。

あともう一点ですね。報酬の口座の払い込み用紙お送りしてたかと思っております。本日お持ちの方はですね、最後に机の上に置いといていただければ回収いたしますので、よろしくお願ひしたいと思います。はい、以上でございます。

○鈴木会長

このメールアドレス登録してそこでやり取りができるっていう形になるんですか。

○高橋課長

例えば会議の日どうでしょうかということを皆さんに一斉送信して、いいですよ、悪いですよというなどのやり取りも可能になりますし、そのあたりで逆に委員の方から事務局の方にメールも送れますね。

○鈴木会長

はいその辺りでまた何かお気づきのことがあれば、こういう要望もあるんだっていうことも何かリアルで、出てくるのかなと思いますので、その形もうまくメールを使いながらということで進めていくことも可能かなというふうにちょっと思いました。

はいそれでは、以上をもちまして令和 5 年度第 1 回の洞爺湖町教育行政審議会の方を終了したいというふうに思います。円滑な議事進行につきましてありがとうございますこれで終わります。ありがとうございました。